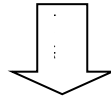


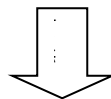
鶴岡小・生活科における教育課程の評価・改善

2015. 2.17 (木)

鶴小児童は、「筋道を立てて説明すること」「自分の考えを文章に表すこと」が苦手



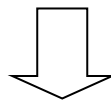
生活科において、「人との関わり」・「他教科との関連」を図る。



教育課程の編成・実施

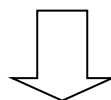
- 「生活科を中核とした年間指導計画」別紙
 - ・(1年) 幼稚園児や2年生との交流 (2年) 1年生との交流

- 「生活科と国語科との関連」別紙
 - ・『メモをつかってしょうかいしよう』の単元でつけさせたい力は「紹介したいことを短い言葉で書いて表す」こと。その力は、生活科で「自分が作ったおもちゃを紹介する」時に役立つ。
 - ・『のりものずかんをつくろう』でつけさせたい力は、「事柄の順序に沿ってメモの構成を考える力」と、「メモから説明文にする力」。その力は生活科で「友達や園児にルールやコツを説明するとき」に役立つ。



教育課程の評価

- 書くことへの抵抗が減った！
- 一番伝えたいことや大事なことを短い言葉でメモに書くこと、メモに書いた言葉を文に変えていく方法を学ぶことができた！



教育課程の改善 (H27年度)

- 「気付き」が量的に高まったことは見えたが、質的にはまだ検証できず。今後別紙カリキュラムに加筆修正をしながら質的な高まりを検証。
- その際、幼児教育や第3学年以降の教育との接続も考慮。

※別紙参照 鶴岡小「スタートカリキュラム」